第23回 大阪府障がい者スポーツ大会 個人競技 感染症拡大予防ガイドライン（全競技共通）

2022.12.28

本ガイドラインは大阪府障がい者スポーツ大会の運営に当たり、感染症拡大予防のため、参加者が遵守すべき事項を取りまとめたものとなります。大会参加につきましては、以下の内容を必ずご確認ください、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。また、ここに記載のない事項が追加されることもあります。

（1）事前の対応（参加者に求める感染症拡大防止のための措置）

- ① 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は、自主的に参加を見合わせる。
- ② 過去5日以内に新型コロナウイルス陽性判定を受けた者との濃厚接触がある者は、自主的に参加を見合わせる。
- ③ 適切なマスク（不織布マスクを推奨。）を持参し、正しい着用と場面に応じた適切な着脱をすること。
- ④ 石鹸と流水による手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底すること。
- ⑤ 他の参加者、主催者スタッフ等との適切な距離を確保すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く。）
- ⑥ 大会中に大声を出す場合には、対人距離の確保とともに、換気の徹底やマスクの着用等に留意すること。マスクを着用し、大声を出さない場合であっても、人と人が触れ合わない程度の距離を保つこと。
- ⑦ 基本的には無観客で行うが、選手1名につき2名程度の付添を認める。
- ⑧ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑨ 大会で新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告すること。

（2）当日の対応（大会の参加にあたり留意すべき事項）

- ① 市町村の代表者1名が受付を行うこと。
- ② 受付時には、手指消毒を行うこと。
- ③ 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないようにすること。
- ④ 参加する選手やスタッフは、前後のミーティング等においても三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること。
- ⑤ 更衣室、休憩・待機スペースにおいて、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じるため、遵守すること。
- ⑥ 諸室・運営諸室の各部屋では、手指消毒を行うこと。また、換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること。
- ⑦ 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うこと。
- ⑧ マスクなしでの大声での声援を送らないこと、会話を控えること、会話をする場合には適切にマスクを着用すること。
- ⑨ 握手などの身体を接触する挨拶等は行わないこと。

- ⑩ 運動・スポーツ中に唾や痰を吐くことは行わないようにすること。
- ⑪ タオルの共有はしないこと。
- ⑫ 競技終了後は必ず手洗いをを行い、発生したごみは必ず各自で処分すること。
- ⑬ やむを得ない場合を除き、競技終了後（閉式後）は速やかに会場を出ること。
- ⑭ その他、各会場の定めた利用方法やスタッフの指示を遵守すること。

(3) 事後の対応

大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症した場合、大会事務局に報告すること。

【参考資料】

- ・公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本パラスポーツ協会
「スポーツイベントの開催における感染拡大予防ガイドライン（令和4年12月26日改訂）」

感染症拡大予防 各競技 遵守事項

(1) 水泳競技

- ①レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）

(2) 卓球競技

- ①卓球台の上で手を拭かないこと。
- ②シューズの裏を手で拭かないこと。
- ③ボールに触れた手で顔（特に眼、鼻、口）を触らないように努めること。

(3) ボウリング競技

- ①ボールを拭くタオルが必要な選手は各自で持参すること。
- ②他選手の競技用具には極力触れないようにすること。

※（1）～（3）にない競技については、全競技共通のガイドラインに沿って実施する。

【参考資料】

- ・公益財団法人日本水泳連盟
「JASF 水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
- ・公益財団法人日本卓球協会
「日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策」
- ・公益財団法人全日本ボウリング協会
「JBC 新型コロナウイルス感染症 予防策ガイドライン」